



Information

オンラインセミナー・イベントの企画・運営サポートを行っています。

活動の場をリアルからオンライン開催へ移行している団体が増えてきています。その中で、「オンライン会議の進行に不安があるのでサポートしてほしい」「オンラインセミナーの企画と一緒に考えて欲しい」という問い合わせを多数お寄せいただくようになりました。サポートオフィスには高度な技術や機材はありませんが、目的の達成に向け、どんな場を作るか一緒に考えサポートするご支援をしていきたいと考えています。オンラインイベント等の開催にあたり、不安なことやサポートが必要な際は、お気軽にご連絡ください。

サポート事例1

昭和薬科大学 赤ちゃん親子がやってきた授業 (担当:吉永真理教授)

2020年12月23日(水)開催



例年、赤ちゃん親子が実際に参加する人気講義が、今年はコロナ禍で初のオンライン開催となり、サポートオフィスが運営協力をしました。当日は、対面授業を実施している4つのサテライト教室に、Zoomでつながった赤ちゃん親子と子育て支援団体にオンライン登壇をしてもらいました。ユーモアと優しさに包まれた登壇者の話に、たくさんの学生から質問や大きな拍手をいただく時間となりました。



▲4教室にわたり、200人を越す学生が参加した講義風景。学生からの質問は、Googleフォームでリアルタイムに集められ、登壇された方々へ投げかけられた。



サポートオフィスで支援させていただいた主な内容

登壇者(親子・子育て支援団体)選定・出演依頼・調整
登壇者打ち合わせ
当日進行補佐
登壇者のZoomサポート
当日進行補佐

サポート事例2

町田市立町田第五小学校PTA オンライン講演会



2021年1月8日(金)開催



「PTAのエントリー制」の導入を模索している町田第五小学校のPTA。当日は、すでにエンター制を導入した名古屋市立吹上小学校の前PTA会長さんのご講演を受け、活発な意見交換も行われました。

サポートオフィスで支援させていただいた主な内容

ZoomURLの設定
進行案作成
当日の司会進行
当日の録画・YouTube公開サポート

サポート事例3

昭和薬科大学地域連携センター おくすり相談カフェ



2021年1月28日(木)開催



これまで大学の中で開催し、子育て親子に仲間づくりや相談の時間を提供してきた当イベント。当日は、普段ゆっくり薬剤師さんに聞けないお薬や育児の疑問・不安に対し、小児専門薬剤師の方々が回答してくださいました。

サポートオフィスで支援させていただいた主な内容

ZoomURLの設定
進行案作成
募集・広報
担当者間打ち合わせ
当日の司会進行

公式SNS 更新中



町田市地域活動
サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

町田市地域活動サポートオフィス

検索



www.machida-support.or.jp

042-785-4871

受付時間 月曜日から金曜日 午前9時から午後6時
(毎月第三水曜日は午後5時まで)



町田市地域活動
サポートオフィス

まち“だ”づくりのコミュニケーション誌 サポートオフィス通信

vol.15
2021.2

TAKE FREE

今月のコンテンツ

2020年度、サポートオフィスは町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」の事務局を初めて担当させていただきました。現在参加団体とイベント参加をしてくださったみなさんからお寄せいただいたアンケートや感想をまとめ、実施報告書を作成しています。本号では、みなさんからお寄せいただいた声をもとに、「まちカフェ！」を振り返ります。



Now!

第14回町田市市民協働フェスティバル「まちカフェ！」 実施報告

「まちカフェ！」10daysにご参加・ご協力をいただき、ありがとうございました！

コロナ禍での開催となった「まちカフェ！」は、参加する団体・個人にとって、新しい挑戦の連続でした。その挑戦が実り、各団体の趣向をこらした催しを多くの人が楽しみ、学び、そしてつながりあえる場になりました。開催期間中、32のオンラインイベント・リアルイベントが開催され、約500名の方が参加。そして市庁舎において、参加団体を紹介した展示「まちカフェ！の森」には1,200名を越える方々がご覧にいらっしゃいました。ご参加いただいたみなさま、お力添えをいただいたみなさまに、あらためてお礼申し上げます。「まちカフェ！」が町田市の市民活動を更に推し進める原動力となるよう、みなさんからお寄せいただいた様々な声を真摯に受け止め、今後の運営に活かしてまいります。

データで見る「まちカフェ！」

開催日程:2020年12月4日～13日

参加団体数

65団体

オンラインイベント開催件数

12

リアルイベント開催件数

20

活動紹介動画制作・発表をした団体

16団体

参加団体から届いた声

- イベントを自組織で企画・開催する経験を通して、課題に対しどう対応したらいいかを考える癖ができた。個でなく、チームとして協力する喜びを感じられた。
- イベント参加を通して、各団体と一步踏み込んだ交流ができるよかったです。
- これまで市庁舎での「まちカフェ！」で行ったのは活動内容展示だったが、今回は自分たちのフィールド(屋外)でイベントを実施。活動体験による団体紹介の有効性を実感し、原点回帰する機運になった。
- 実行委員会参加やオンラインイベント開催に向け、Zoomの使い方講習会などに参加したこと、団体内のオンラインスキルが向上した。

ご意見ありがとうございます。



イベントに参加した方から届いた声

リアルイベントに参加した方の声

●コロナ対策をきちんと行っている会場でのイベントだったので、安心して参加することができた。スタッフの方とじっくり話せたのもよかったです。

●密を避けるための市内分散開催で良かったと思うが、開催場所によって交通手段が困難で諦めないといけない方もいらっしゃったのではないかと思った。

●このような困難な状況の折、リアルとオンラインとを駆使した開催・運営に大変好感が持てた。

●画面越しだが普段の団体活動の様子なども質問でき、その団体をぐっと身近に感じることができた。



Report | 3つのトピックスで振り返る

「まちカフェ！」10days

コロナ禍で制限があることを「今しかできないことをやろう！」と前向きに捉え、

企画・運営を進めた「まちカフェ！」。たくさんの収穫と共に、挑戦したからこそその課題が見えてきました。

そこで実行委員会が中心となり、「まちカフェ！」終了後に参加団体を対象としたアンケート※を実施。

ここからは2020年度初めての取り組みを3つ取り上げ、アンケート結果と共に2021年度につながる視点をご紹介します。

※参加団体アンケート: 2020年12月17日～28日実施。参加団体65のうち、44団体が回答

Topics1

オンラインで全実行委員会を開催

感染症拡大防止の観点から、参加団体・ボランティアで構成される実行委員会も全てオンラインで実施することにしました。実行委員会は昼・夜の2部制としたり、個別に話し合いを深める機能を使ったワークショップを取り入れたりと、オンライン実施ならではの試みを取り入れました。

アンケート結果では、約7割の人がオンライン会議方式や会議内容に「大変良い・良い」と回答。「オンライン実行委員会は、団体同士の対話時間が多く、団体の悩みを共有でき、自団体の活動を知つてもらう機会となった」という声が多数寄せられました。一方、オンライン環境の準備や操作へのサポートが行き届かず会議への参加を断念された団体や、参加はしたもののが開催方法等に課題を投げかけてくださる声も。「まちカフェ！」の目標のひとつである「参加団体の交流・スキルアップ」にいかに近づける場にするか、実行委員会と一緒に検討を深めてまいります。

実行委員会の全レポートが
「まちカフェ！」サイトで閲覧できます!



こんなことも
やりました!

初心者さん向け オンラインスキルアップ講座

オンライン初挑戦の団体が多いことを受け、「ZoomとFacebookはじめて講座」「動画作成講座」「主催者のためのZoom開催方法きほん講座」を開催し、のべ35人の方が参加。「安心して使えるようになった」「団体の運営に活かしたい」という感想が寄せられました。



オンラインでも
つながり合えた!

オンライン開会式& オンライン打ち上げ

実行委員会だけではなく、開会式も打ち上げも全てオンラインで実施。開会式では参加団体による画面越しの「緑のバトンリレー」をしたり、打ち上げではビールなどを片手に語りあったりと、オンラインならではのつながり合える企画を行いました。



▲オンライン打ち上げの様子

Topics2

イベントはオンライン・ 市内分散開催で実施

実行委員会ではどのように「まちカフェ！」を実施するか議論を重ね、オンライン・市内分散開催することを決定しました。33団体がイベント等を開催し、16団体が活動内容を動画にまとめ発表。団体ごとに趣向を凝らした企画内容と技術の高さに、参加者や閲覧者から「団体の魅力を知ることができます」「素敵な体験ができた」「来年度もこの方法での開催も検討してほしい」といった声が届きました。

オンラインイベント開催事例 町田市ユニカール協会

陸上版カーリングとして、誰もが簡単にできるユニバーサルなスポーツ「ユニカール」。その面白さや今後の展開について、多世代みんなでワイワイ語り合う場を企画。台本や進行表の準備を念入りにされたこともあり、オンラインイベント初挑戦ながら参加者全員が生き生きとお話しされ、あっという間の2時間でした。



リアルイベント開催事例 まちだ旅する絵本実行委員会

絵本が、人と人をつなげるキッカケになって欲しい、という願いで2020年8月にスタートした「まちだ旅する絵本」。ワークショップ「まちだ旅する絵本で地域課題を考えよう！」を開催し、絵本を活用した地域課題の解決について議論が繰り広げられました。



協働ガイドブックの
全ページがダウンロードできます!



Topics3

「まちカフェ！」 市民協働ガイドブックの作成

「まちカフェ！」期間終了後も、協働や市民活動参加の輪を広げるきっかけとなることを目指し、実行委員会にて制作しました。協働を進めるヒントやその事例とともに、「まちカフェ！」に参加を表明した65団体の基本情報、団体の強みや活動の幅を更に広げるために必要としている情報などが掲載されています。



▲第1部は市民活動や協働を広げるヒントや事例を大特集

▲第2部は新しい発見や魅力も見つかる参加団体情報を紹介

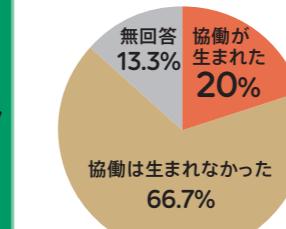
2021年度の「まちカフェ！」実施に向けて

参加団体アンケートでは、今年の「まちカフェ！」を通じて団体同士の協働が生まれたと約2割の方が答え、次年度に向け協働をしたいと回答した団体は約9割にのぼりました。過去13回にわたり実施してきた「まちカフェ！」という土台があったからこそ、今年度の「まちカフェ！」では新しい挑戦や試みができました。綿々と受け継がれてきた町田の市民活動の灯が今後も生まれ、つながり、支え合い、そこから協働の輪が広がることを願ってやみません。事務局を担わせていただいているサポートオフィスとしても現状に満足せず、たくさんのご意見を伺いながらさらに前進してまいります。



Q4

「まちカフェ！」をきっかけに
他団体との協働事業が
生まれましたか？



Q5

今後、他団体と同じ
目標に向かって
協働したいと思いますか？

